

The Alumnae News of ND Seishin School

特集 新しくなった図書館探訪



同窓会会長挨拶

同窓会会長
岩崎 恵子

同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。ここ3年もの間は新型コロナウイルス感染予防に明け暮れ、人との会話を楽しむにもマスク越しで密にならないなど、工夫を重ねる我慢の日々でした。最近やっと以前の通りとは申せませんが、感染予防に細心の注意を払いながらも日常を取り戻しつつあるように感じています。何気ない日常のありがたさが身に染みた年月でした。

昨年5月には制限はありましたが学園祭・バザーも開催され、8月には同窓会総会も再開されました。今年も5月27・28日に学園祭・バザーを、7月30日には総会開催の予定です。6月25日には関東支部会も開催される予定です。会報も素敵な冊子が出来上がりました。地域によって状況も違い受け止め方も様々な中で、ご尽力下さる担当の皆さまに心から感謝申し上げます。

今年2月28日に同窓会入会式を行い、68期生173人を迎えました。同窓生の親睦を図る、母校の発展に寄与する、社会に貢献する、という同窓会の理念を伝えました。一人一人が良き日を重ねていけますように祈っております。

「一陽来復」辛かったコロナ禍の後、穏やかな春が卒業生の皆さまに巡ってきますように願っています。

同窓会名誉会長挨拶

ノートルダム清心中・高等学校学校長
神垣 しおり



同窓会の皆さまにはいつも母校の教育活動にご理解・ご支援をいただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症と共に歩んだ3年間、収束を願いつつ、皆さまに助けられながら、何とか過ごしてまいりました。昨年度は、学園祭が

限定公開で久しぶりの賑わいとなったものの、皆様方には学校への出入りの制限をお願いし続け、心苦しく思っております。数々の試練や困難を抱えながら、69期から74期生までの後輩「なでしこ」は、皆様方に支えられているおかげで、たくましく過ごしております。

「心を清くし 愛の人であれ」という建学の精神を土台に、新しい時代にふさわしいノートルダム清心の教育とは？と問い続ける日々です。教育活動を深化しながら、リニューアルしたWebページも含め、母校の様子も適宜お伝えしてまいります。今後も、末永く見守っていただければ幸いです。皆さまのご健康と同窓会のますますのご発展を己斐の丘からお祈りいたします。



2022年度 執行部役員

会 長	13期	岩 崎 恵 子 (内藤)
副 会 長	22期	辻 井 美 紀 子 (住広)
副 会 長	26期	水 内 映 子 (伊東)
会 計	13期	閑 田 順 子 (藤岡)
書 記	30期	伊 藤 康 子 (宮岡)
書 記	38期	菅 尾 麻 里 (菅尾)
書 記	38期	細 川 志 織 (菊本)
書 記	47期	久 保 有 子 (南崎)
会 計 監 査	35期	高 橋 庸 (井上)
会 計 監 査	45期	栗 本 綾 (房原)
学 校 事 務 室 同 窓 会 担 当	32期	與 倉 章 子 (濱崎)
事 務 局	22期	本 田 浩 子

関 東 支 部 長	37期	真 壁 直 子 (北村)
関 西 支 部 長	14期	居 藤 信 枝 (大越)

表紙のことば 48期 國原 淑子

毎日「おはよう」「おやすみ」と声をかけて育てているサボテンを描いています。

好きなものを自由に表現できることが、描くことを楽しく続けていける理由のひとつだと思います。また、「なでしこの会」という発表の場があることが、制作を続けるモチベーションとなっています。

「継続は力なり」、感謝の気持ちを持ちつつ描き続けていきたいと思っています。

個人情報の取り扱いについて

登録されている個人情報は、同窓会からの案内・会報発送や名簿作成に利用しますが、本人の同意がある時および会長が必要と認めた時以外は開示しません。

ただし、各期委員からの同期会開催を目的とした住所シール、名簿の発行要請は従来どおり受け付けます。

第67回 同窓会総会

日時 ▶ 2022年8月7日(日)
場所 ▶ ANAクラウンプラザホテル広島
幹事 ▶ 44期 54期

昨年8月7日(日)、第67回同窓会総会が開催されました。前回と前々回はコロナ禍のため、同窓会委員総会に併せて行う形でしたが、今回は感染症対策を徹底して行い、3年ぶりの単独開催となりました。

第1部は「マザージュリーの歌」から始まりました。岩崎会長からは「ここ2年ほど学園祭でのバザーがありませんでしたが、今年の5月にはバザーを成功のうちに終わることができました。規模を縮小して行いましたので、経済的にはかなり厳しい状況になっておりますが、皆さまとこのようにお目にかかれる機会ができたということは、大変嬉しいと思っております。」とご挨拶がありました。続いて神垣校長からも「現在も様々な我慢を強いられたり制限されたりしている在校生達ですが、健気に頑張っております。この若いパワーを、私達もなんとか後押ししたいと思っております。」とのご挨拶がありました。

次に2021年度事業報告、決算及び監査報告を行い、2022年度の予算が承認されました。続いて永年勤続の先生方の表彰が行われ、30年表彰の原田典子先生のご挨拶ののち、新執行部の紹介が行われました。

さらに同窓会コーラスの第2部、恩師を囲んでの歓談と昼食の第3部と続きます。同窓生の在学中の写真をまとめた映像や、タクラ先生が撮影、編集された新講堂ができるまでの様子を追った映像を観賞したあと、来賓の先生方からお1人ずつご挨拶をいただきました。真壁関東支部長からは、支部の報告と活動についてお話がありました。そして、7月16日にTBSにて全国放送された音楽番組で、歌手のA Iさんが清心に来校され、合唱部の生徒達と合唱した時の様子も紹介されました。

久しぶりの開催となった同窓会総会でしたが、マスク越しでも笑顔が溢れていることがわかる和やかなひとときとなりました。

盛会のうちに、最後に出席者全員で校歌を斉唱し、閉会となりました。



学園関係物故者 慰霊祭ミサのお知らせ

毎年ノートルダムホールにて学園関係物故者慰霊祭ミサが行われます。同窓会本部にご連絡いただいている同窓生の物故者の慰霊も一緒にいただいております。



クリスマスミサのご案内

毎年12月24日16時より、学校でクリスマスミサを行っています。

2022年は積雪のため、安全を期してミサは取り止めになりました。

2023年のクリスマスミサへ参加希望の方は事務局お問い合わせの上、ご参加下さい。一緒に主の御降誕をお祝いできることを楽しみにしております。



お元気ですか

多賀 俊介 先生 (社会科)



皆さんお元気ですか。私は定年退職して、はや13年になります。街角で清心生を見かけても声をかけることを控え、そっと見守ることに慣れてきました。先日、大学から依頼された戦争遺跡の案内のため広島城に向かっていた時、旧市営バレーボールコート解体現場を通りがかり、思い出がよみがえってきました。清心に就職してわけもわからぬままバレーボール顧問として今崎先生のお手伝いをする事になり、最初に行った試合会場がここだったなど。スポーツに縁が薄かった私には、砂まみれで一生懸命プレーする生徒の姿が印象的でした。以後、バスケットボールや剣道部等運動部の、また点字クラブ、手話同好会、合唱部、朝鮮文化研究会、ディベート等文化系の部・同好会顧問をさせてもらって多くの感動や学びをもらいました。清心で先生という仕事をしなければ経験できなかったことで、今、改めてそのことを感じます。



新型コロナ感染症流行で大変な時期ですが、その中でも清心生に助けってもらったり繋がったりということがありました。南区の旧広島陸軍被服支廠^{ししやう}は、そこで被爆された方のお手伝いをしていましたが、2019年秋に広島県より解体案が出ました。その後、2020年に開始した解体反対署名活動に協力してくれたり保存の意義を示す番組を作ってくれたりした清心生に本当に感謝しています。2021年には、卒業生から清心の平和学習について大学でのオンラインシンポジウム参加の依頼がありました。プレゼン資料に私の授業中の写真が必要とのことで探したところ、当時の生徒が撮影してくれた、私が授業でアリランを歌った時の写真があったので提供しました。直接の清心生とのかかわりではないですが、2022年には国立民族学博物館の先生が、私が授業で使ってきたパプアニューギニア旅行のスライド写真の保存を引きうけて下さいました。清心で皆さんと共に学びあったことが今の私の生活を充実したものにしています。ありがとう！

関東支部だより

2021年の第55号会報にて「東京修道院 保存活動に多くの同窓生も参加」という記事をご覧になった方もおられると思います。1956年からシスターたちのお住まいだった東京修道院（東京都武蔵野市、旧赤星邸）は2021年に武蔵野市に寄贈後、2022年10月に国の登録有形文化財（建造物）に登録されました。関東支部の活動は東京修道院とともにあり、修道院に集まったお茶会が同窓会の始まりだったとシスターや先輩方から聞きました。コロナ禍と同時に修道院に集まれなくなり、心の支えを失ったような喪失感を感じる一方で、私たちとつながりの深い修道院が国の文化財として保存され、誇らしい気持ちです。故郷から遠くにある関東支部ではありますが、ふとしたときに皆さんに思い出していただけるような存在であるよう、努めていきたいと思っています。

2023年6月25日（日）12時よりアリスアキアガーデン品川店にて関東支部同窓会を開催予定です。次号の「関東支部だより」では、約5年ぶり開催の様子を紹介できることを楽しみにしております。

〈関東支部連絡先〉

関東支部長 37期 真壁直子（北村）

「ノートルダム清心中・高等学校同窓会関東支部」
Facebook グループページ

関西支部だより

2022年度も関西支部同窓会は、3年連続で開催できませんでした。収束しないコロナに、耐え忍ぶばかりでした。

そんな時に、2月のロシアのウクライナ侵略。暴虐の振る舞いが現実を凌駕する信じがたい出来事でした。

同窓の皆さまも、あってはならない非情さに心を痛め、ウクライナに平和が戻るように祈られたと思います。愚かな戦略行為、繰り返される歴史に、叡智で立ち向かわねばなりません。

これからも、予期せぬ大事が起こるでしょう。無力な一人ひとりができることは、祈り続けることだと思います。

本部の皆さまのおかげで、同窓会会報誌が毎年変わりなく発行され届けられることは、何よりも同窓の力になります。

今年は秋に開催できるよう準備を進めています。お楽しみになさってください。

〈関西支部連絡先〉

関西支部長 14期 居藤信枝（大越）

おめでとうございます

永年勤続表彰

下平 芳子 先生 30年(英語科)



この度は永年勤続表彰を頂き、ありがとうございました。今まで多くの方々に助けていただいて、節目の年を迎えることができました。

教員生活は後悔と反省の連続でした。こうすればよかった、こう言えばよかったという状況とともに、その時間わりのあった生徒の皆さんお一人お一人のお顔が目には浮かびます。本当に至らないことが多く、心から申し訳なく思っています。

葛藤の日々でしたが、嬉しいことや楽しいことも確かにあり、清心生が大好きだという思いを胸に、教員を続けてまいりました。同窓生の皆さま、先輩の先生方、教職員の皆さま、そしてご縁のあったすべての方々に、心より御礼申し上げます。これからも母校のため、研鑽に努めてまいります。

原田 典子 先生 30年(家庭科)



このたびは勤続30年の表彰を賜り、心よりお礼申し上げます。

赴任時、「見て学びなさい」とのアドバイスを受け、先輩の先生方からいろいろな事柄を吸収させていただきました。特に、「礼儀正しいことは親切なことです」という言葉とともに、常に生徒と共にいて丁寧な声かけをするという姿勢は自分の目標となっていました。また「家庭」という教科においては、時代の流れとともに“人生で大切なこと”をできる限り取り入れるように工夫してきました。

30年間続けることができたのも、ひとえに清心生と同僚の皆さまのご協力があったることと確信しております。

「清心」という学校が、同窓生からはもちろん地域からも愛され続けますよう、これからも尽力して参りたいと思います。

安藤 広司 先生 10年(理科)



勤続10年の表彰を賜り、ありがとうございました。10年間働き続けることができたのも、同窓会の皆さまをはじめ多くの学園関係者の方々の支えのおかげと感謝しております。

同窓会より頂きました記念品は、学園祭実行委員会の生徒が困ったときに使ってくださいと、全額を学校に寄付させて頂きました。

この仕事を続けていると、ずっと12歳～18歳の生徒と関わっているので、時間の感覚が麻痺してきます。そんな中、時折来校する卒業生と話をすると、年を取っている、きちんと時間は経過していることを確認できて安心します。コロナ禍でその機会も減少して寂しい限りです。

卒業生の皆さまには今後とも、変わりなく清心を見守っていただければ幸いです。

石井 翔太郎 先生 10年(音楽科)



このたびは、勤続10年の表彰を賜り心よりお礼申し上げます。10年続けることができたのも同窓会の皆さまをはじめ多くの学園関係者の方々の支えがあってこそと、心より感謝しております。

教員生活10年という月日はあっという間でしたが、卒業生の活躍する機会が日に日に増えていくのを見ると10年という重みを感じずにはられません。また本校の広報活動でも、同窓生の皆さまからの情報提供をはじめ、多くのご意見等を頂き、本校の発展に欠かせない存在であることを日々感じております。引き続きよろしくお願いたします。最後になりましたが、同窓会の皆さまのますますのご発展をお祈り申し上げます。

山崎 倫裕 先生 10年(数学科)



このたび勤続10年の表彰を賜わり、誠にありがとうございます。

こうして今まで働くことができましたのも、ひとえに生徒、保護者、同僚教員、および卒業生の方々の温かいご支援と励ましのおかげであると、改めて感謝申し上げます。そのご恩に報いることができますよう、この表彰を受けたことを機会に、10年前の初心にかえって、自分自身を磨き直し、新しいものを吸収し続けると共に、ノートルダム清心の発展のために、さらに職務に精励していく所存でございますので、今後ともご指導ご支援のほど、よろしくお願いたします。

最後になりますが、同窓会の皆さまのますますのご発展をお祈り申し上げます。

同窓生の活動

ユリア会

例年、春分の日前後にカトリック信者同窓生の集い「ユリア会」を行っております。どうぞお気軽にお越しください。

〈連絡先〉ノートルダム清心中・高等学校 TEL 082-271-1724



清心なでしこ医会

同窓医師の会です。年一回の総会・講演会・懇親会、学園祭での骨密度測定、在校生の健康診断への出務が主な活動です。講演会には、医学のみならず、各分野で活躍しておられる同窓生を講師としてお招きしています。続く懇親会では、近況報告、情報交換など話に花が咲きます。コロナ禍で、2020年、2021年と健康診断以外の活動を取りやめていましたが、2022年は3年ぶりに総会、講演会を行いました。会場参加とオンライン参加のハイブリッド形式となりましたが、参加人数も例年と変わりありませんでした。

新規会員募集中です。入会をお待ちしております。

〈連絡先〉なでしこ医会事務局 お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724



コーラス

私たちは月2～3回金曜日の午前中に20名程度で練習しています。ある時は昔懐かしい曲や、今流行っている曲を歌い、またある時は若い作曲家が作ったリズムの難しい曲に挑戦しています。コロナ禍で母校での活動は行えませんが、近隣の教会をお借りして練習を行っております。本来であれば練習後のおしゃべり、食事会、レクも楽しいですよ。歌の好きな方は一緒に歌いませんか。

〈連絡先〉9期 石橋 秀子(井上) お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724

なでしこの会

第37回なでしこの会展を、2022年5月28日から31日に開催しました。同窓会による美術展としては長く続く展覧会で、皆さんに親しまれています。コロナ禍で感染症対策をして、無事開催できた事へ感謝です。ありがとうございます。毎回最終日の、作品の前での講評会は、次への製作意欲にパワーをもらいます。なでしこの会展、次回に向けて一同、新しいスタートをきりました。今後ともよろしく願います。

〈連絡先〉23期 渡辺 紀久子(鎌田) お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724



英語を楽しむ会

第1、3水曜日の午後、袋町市民交流プラザで講師の三浦智世子さんとともに集まっています。平和に関すること、異文化の多様性や交流など、英文教材を通して学んでいます。会員間の近況報告やトピック提供の“What's new”で親交も深まります。リモートレッスンも並行して行っていますので、遠方の方もどうぞご参加ください。

定例レッスンだけではなく、課外活動も楽しんでいます。これまでにお花見、紅葉狩り、縮景園や福山市のホロコースト記念館への遠足、広島在住の外国の人との交流会も開催しました。

今年度は、ガイドさんと一緒に「西国街道歩き」や「ハワイ移民資料館 仁保島村」の見学、12期の古谷章子さん(全国通訳案内士)による講演会「日本のここが面白いー訪日クルーズ船客の視点からー」を聴きました。写真はその時のランチ会です。

語り合い学び合うことで世界が広がる会です。皆さまのご参加をお待ちしています。

〈連絡先〉12期 小辻 たか子(吉沢) お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724



ミスター・タクラの英会話

依然、コロナ禍でリモートレッスンをしています。コロナが収まり同窓会室の使用許可がおりたあかつきにはリモート配信も続けてする予定です。この度、同窓会に、会で使用するiPadを寄贈させていただきました。先輩後輩いるんな期が集まって和気あいあいとやっています。予め先生がお題をメールして下さるので準備できます。例えば「来年新たに何をしたいですか?」。ここでスマホの翻訳アプリを活用する手もあります。何とか通じればOKなのでアバウトで大丈夫。臆せず参加してみませんか? ネイティブレッスンなのでヒアリング力とスピーキング力がつきます。第2、第4木曜日の午後1時30分から2時間やっています。ご参加お待ちしております。

〈連絡先〉21期 坂尾 美奈子(上田) お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724



同期会だより

16期

開催日 ▶ 2022年6月26日(日) 場所 ▶ リーガロイヤルホテル広島32階スカイバンケットルーム
寄稿者 ▶ 三島芳子(井上)、川口裕子(古屋)



2022年6月26日(日)、リーガロイヤルホテル広島32階スカイバンケットルームにて同期会を開催いたしました。

返信用はがきに近況報告を書いてもらい、「近況報告なんでもお便り集」に編集しました。

16期の名簿の方123名に往復はがきに印刷した案内状を送りました。80名から返信を頂き、出席30名、欠席50名。

冊子希望者48名、うち欠席するけれど冊子は読みたい方22名。

当日は32階から広島市内を一望しながら、各自2分間スピーチで盛り上がり、瞬く間に時間は過ぎ、校歌斉唱をして、次回開催

を約束して終了しました。

当初コロナ禍、開催に賛否両論あるなか、人数が集まらないと、ハガキ代・印刷代も出ないと覚悟していたのですが、暖かいカンパと御茶菓料を送って下さる方もいて、役員持ち出し分は時間とエネルギーだけで済みました。

皆さまのご協力、本当にありがたかったです。

ノートルダム清心高等学校卒業式以来、52年それぞれの人生を送ってきました。しかし、顔を見れば、お互い懐しくお話ができるということは、青春のひとつきを母校清心で共に過ごした時間の贈り物であると思いました。

24期

開催日 ▶ 2022年10月9日(日) 場所 ▶ リーガロイヤルホテル広島
寄稿者 ▶ 元田聡子(北脇)



2022年3連休中日の10月9日(日)に栗田先生をお迎えし、55名の同級生の出席で24期の同期会を開催いたしました。卒業以来44年ぶりにお会いした方も多く、高校時代に戻ったような2時間余りのとても懐かしく楽しい時間を過ごすことができました。また、栗田先生の若々しいお姿にパワーを頂くこともできました。

本来なら2020年に行う予定でしたが、案内状発送直前にコロナ感染拡大を受けオリンピック同様延期に。準備を始めてから3年余りの年月をかけ、やっと夢を叶えることができました。

44期生の方が同窓会総会用の動画を24期生のために再編集してくださったものを観ながらの黙食。挨拶や近況報告の時だけマスクを外して話してもらったり、歓談なし(実は時間が足りず)だったりとコロナ禍での同期会でしたが、無事に開催できたことを喜んでいます。

まだまだ厳しい状況が続きますが、元気に過ごしてまた集まりたいと思っています。

同期会開催時の名簿等提供の申請手順

同窓会開催をご検討の方は、同窓会事務局にお問い合わせいただけますと名簿の開示が受けられます。必要に応じてご活用ください。

※同期以外の名簿は開示できません。

①同期会の幹事はどなたでも結構です。

名簿提供の申請は、必ずその期の同窓会委員を通して同窓会事務局にご連絡ください。

E-mail : dousoukai@hiro-seishin.ed.jp

②ご連絡頂いた時点で同窓会事務局のデータベースに登録されているその期の名簿と、ご希望があればそれを印刷した宛名シールを、レターパックライトで同窓会委員宛に郵送させていただきます。

住所変更のご連絡を頂いていない方のご住所はその時点で正しいとは限らない事をご承知おきください。

③同期会の日程と会場が決まりましたら、同窓会委員を通じて同窓会事務局にご連絡ください。

◇名簿は同期会以外の目的での利用を固くお断りしております。個人情報ですので、お取り扱いには十分ご留意の上、同期会が終了したらシュレッダーにかける等して必ず破棄してください。

◇同期会を開かれる時には、名簿上の方全員にお声掛けをお願いいたします。

特集

新しくなった図書館探訪



2018年2月に完成した「ノートルダムホール」の3階に、中高生共用の新図書館が誕生しました。スペースの限られた旧第一・第二図書室を一室に整備し、新図書館には「平湯モデル」が採用されました。長く図書館に関わってこられた平湯文夫先生のプロデュースによる「平湯モデル」とは、家具づくりと部屋づくりで図書館の利用を促すように演出することです。清心の新図書館も「平湯モデル」の採用により木のぬくもりのある明るく開放的な空間へと生まれ変わりました。

今回、新しくなった図書館について竹舂先生にインタビューをしてきました

Q. 新しい図書館を作った際のこだわりは？

清心の新図書館に採用した「平湯モデル」は、徹底した利用者目線の図書館で、居心地の良い空間、思わず本に手を伸ばしたくなる書架（本棚）、自然に奥まで進んでしまうレイアウトが特徴です。

落ち着いた木のぬくもりと、柔らかい照明（普通教室とは違う照明を使っています）で、ほっとする雰囲気となっています。



図書館展示

予算との戦いがあったので、3年計画で引っ越し用段ボールを用意するところから、古い書架や家具も活かしつつ新しい書架・家具を取り



竹舂先生

入れるという工夫もしました。

引越しの大部分は図書委員生徒が行いました。（さすが清心生！皆さんの後輩です。）

Q. 図書館運営のこだわりは？

運営に関しては、私一人ではしないことと、常に変化することをモットーにしています。知る権利を大事に、生徒からの蔵書リクエストも受け付けております。年間約1,000冊前後の書籍を購入しています。最も頼りになるのは図書委員生徒で、委員が「やってみよう」と思うことは出来る限り実現させるべく私もがんばります。



図書館風景

館内には生徒のPOPや授業の成果物などが展示されていますが、異学年が集うのが図書館の強みなので、「お姉さんすごい」とか「中1すごい」とか、そんな声が聴けると嬉しいです。手作り家具を寄贈してくださる方、本を寄贈してくださる卒業生や教職員、廣文館（書店）や愛知株式会社（家具業者）といった関わりのある業者さんなど、多くの方に支えられて成り立っている図書館です。

また、展示やレイアウトは、常に利用者のニーズに合わせて変化・進化していくことも大切にしています。例えば、新型コロナウイルス感染症をきっかけにデジタル化が進み、非来館型サービスも充実しました。家で本の検索や予約が可能になり、校内ならどこでも過去の新聞記事の検索が可能です。加えて、昨年度から導入した電子図書館は、全国の学校図書館での利用率がなんと国内第1位です。

Q. 生徒と図書に関わりについて教えてください！

地域貢献活動でしょうか。広電西広島駅横の「KOI PLACE (コイプレ)」内にある絵本ギャラリーで絵本を紹介するPOPを展示したり、定期的な入れ替えを図書委員が行っています。



KOI PLACEの絵本ギャラリー

Q. デジタル化について教えてください！

まず、司書の仕事内容は、

1. 読書センター（読書推進）
2. 学習センター（自習、授業）
3. 情報センター（情報発信）

の3つがあり、デジタル化も相まって3の情報センターとしての役割が以前よりも増しています。

例えば、電子書籍は3万冊あり、自宅でも閲覧可能となっています。また、朝日新聞と読売新聞は過去30年分の記事を読覧でき、キーワードで検索も可能です。さらにジャパンナレッジスクールという充実した電子書籍も自宅からもアクセスできるようにしています。

子どもたちには一人1台iPadを持たせており、膨大な情報を瞬時に収集することができるサポート体制を整えています。



電子書籍
メインページ



現代国語の授業（中1）



宗教の授業（高3）

皆さまも機会があれば新しくなった図書館やコイプレへ足を運んでみてはいかがでしょうか。

引用：こどもが変わる 学校が変わる 図書館づくりホームページ



同窓生の新刊紹介 22期 谷 美穂（河内）さん

「海を渡り、そしてまた海を渡った」（現代書館）

ストーリー

〈中国残留孤児〉の血脈をリアルかつみずみずしく描く物語。

3世代の女性が自らに語るように過酷な過去と向かい合い、それぞれのアイデンティティの不安が錯綜する。

谷 美穂さんよりメッセージ

卒業以来、目の前の問題に関わり続けて、大変ご無沙汰しておりました。しかしふと振り返ってみると、その問題へのかかわり方は母校から受けた学びの一つだったように思います。中国残留邦人は、本来戦闘を本分とする軍隊が住民を守ってくれないことを私に強く訴えます。あの時そこにいたのは自分だったかもしれない…その思いや痛みを共有しつつ、読み継がれてほしいと念じてこの小説を書きました。どうぞお手に取ってみてください。





近年の図書委員の活動 ～祈りの環プロジェクト～



コロナ禍の2020年の夏休み明けに、図書委員会で「祈りの環プロジェクト」が発足しました。きっかけは、同窓会会報第55号でも紹介した「お聖堂に関する冊子」を見たことでした。

コロナ禍で委員会業務が減少し、自分たちにできることは何か話し合い「閉じこもらずに、つながろう」という強い思いと、他校のお聖堂についても知り、皆と共有したいという考えから、進められたプロジェクトです。

2020年9月から始まったプロジェクトですが、完成したのは2021年3月のことでした。

まず、生徒たちは、全国に120校あるカトリック学校連合会に所属する中学高等学校の学校長宛に、手書きで手紙を書くことから始めました。そのうち賛同いただいた約50校とやり取りを続け、頂いた写真やデータをもとに自分たちでパワーポイントを駆使し、デジタルフォトブックにまとめていきました。コロナ禍で多くの学校が休校になるなど、スムーズにいかないこともあったようですが、全国のカトリック学校と繋がり立派なムービーが完成したことは、生徒の自信につながったことでしょう。

ぜひみなさんYoutubeで「祈りの環プロジェクト」と検索し、御覧ください。

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=ePnDedrb6JM>



2022年度 在学生大会報告

- 【高 校 囲 碁 部】「第46回全国高等学校総合文化祭 囲碁部門」団体戦 第9位
- 【高 校 演 劇 部】「第62回広島県高等学校総合演劇大会」出場
- 【高 校 合 唱 部】「第61回中国合唱コンクール」銀賞
「第89回NHK全国学校音楽コンクール 中国ブロックコンクール」銅賞
- 【高校古典文学研究部】「第30回広島県高等学校小倉百人一首かるた大会」個人 1位・2位
「第44回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会広島大会」優勝
- 【高 校 山 岳 部】「インターハイ」出場
- 【高 校 水 泳 部】「第56回広島地区高等学校春季水泳競技大会」総合 6位
「第75回広島県高等学校総合体育大会水泳競技の部」個人 1位ほか3名入賞
- 【高 校 卓 球 部】「第75回広島県高校総合体育大会卓球の部」第3位
「2022年度広島市高校卓球選手権大会」第4位
- 【高 校 放 送 部】「第69回NHK全国高校放送コンテスト第63回広島県大会」アナウンス部門・朗読部門 入賞
テレビドキュメント部門 最優秀賞
- 【高 校 陸 上 部】「広島地区高等学校夏季陸上競技選手権大会」400m 第4位
- 【中高クラシックギター部】「令和4年度全国高等学校ギターマンドリン音楽コンクール」優良賞
- 【中 高 文 芸 部】「第33回広島県高等学校文芸コンクール 文芸部誌部門」優秀賞
- 【中 学 演 劇 部】「第39回広島市中学校総合文化祭 演劇の部」優秀賞
- 【中 学 音 楽 部】「第89回NHK全国学校音楽コンクール 広島県コンクール」銀賞
「第61回広島県合唱コンクール」銀賞
- 【中 学 水 泳 部】「第2回広島県中学校新人大会水泳競技の部」メドレーリレー 第7位ほか
- 【中 学 放 送 部】「第42回広島県中学校放送コンテスト第39回NHK杯全国中学校放送コンテスト広島県大会」朗読部門 3位
「第39回広島市中学校総合文化祭 放送コンテストの部」アナウンス部門 第2位ほか
- 【中 学 陸 上 部】「全日本中学校通信陸上競技大会広島県大会」4×100mリレー 第4位ほか
- 【社 会 科】「第61回地図ならびに地理作品展」国土地理院長賞
- 【英 語 科】「広島県高等学校英作文コンテスト」入賞 学校賞
「広島県高等学校レシテーションコンテスト」入賞
- 【個 人】「インターハイ(ヨット)」出場
「全国高等学校ビブリオバトル広島県大会」最優秀賞



2022年5月28日(土)29日(日)に「Space <宇宙・空間>」をテーマに、事前申し込みされた方々だけの限定公開となりましたが、2019年以来3年ぶりに外部の来校者を迎えての学園祭が行われ、同窓会バザーも無事に行うことができました。

お忙しい中、快くお手伝いくださった同窓生の皆さまと、会場へおでかけくださった多くの方々に心より感謝申し上げます。(〇は責任期です。)

次のバザーは2023年5月27日(土)28日(日)です。開催につきましてはホームページにてご確認をお願いいたします。



マイショップコーナー



20・21

寄贈品販売



22・23
24・25
26

フルーツケーキ



27・28
29・30
31・32
35・37

フルーツケーキの販売は漬け込みフルーツのみの販売となりましたが、大盛況につき両日ともに早々に完売いたしました。

うどん・おむすび

5/28 41・39・43・46・51・55・57・61
34・42・48・50・53・59・65

5/29 33・38・45・49・56・60・63・66
36・40・47・52・58・62・64・67



なでしこ通信

50期 菊田真奈



清心を卒業後、東京の大学で写真を勉強し、フリーランスフォトグラファーとして働きました。その後渡仏し、フランスの大学院でメディア・アートを勉強しました。現在はフランス・日本を拠点にアーティストとして写真を媒体に活動しています。海外に出て、広島出身だと言うと、やはり原爆のことを聞かれることが多々ありました。広島から遠くに住むにつれ、故郷広島への愛着心に気づき、ヒロシマの記憶をテーマにいくつかの作品を制作しました。ただ、原爆の被害にだけ目を向けるのではなく、その過去の記憶が現在にどう伝わっていないのかということテーマに、写真を通して視覚化しようとしています。清心の生徒だった頃、宗教の授業で触れた内容がもととなり、芸術への興味や考え方が身についたように感じます。活動の様子はInstagramからもご覧いただくことができます。応援よろしくお願ひします。

【Instagram : @manakikuta】



【SENBAZURU】旧日本銀行広島支店 展示風景 2021年制作
折り鶴が折られ、そして平らに広げられ、また鶴を折る行為が繰り返されることにより、感光剤が塗られた折り紙の上に模様浮かび上がる。その模様は、祈りが記録されたように、写真に記憶されたように、紙の上に残る。

同窓生の皆さまへ

同窓会総会のご案内

ノートルダム清心中・高等学校同窓会
会長 岩崎 恵子

新緑の候、同窓生の皆さまには、各方面にますますご活躍のことと存じます。

さて、2023年度同窓会総会を下記のとおり開催いたします。懐かしい先生方、同級生と久しぶりに顔を合わせて、楽しいひとときをお過ごしください。

ご友人同士、お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

記

日時：2023年 7月30日（日）11:00～14:00
場所：ANAクラウンプラザホテル広島
（旧全日空ホテル）
広島市中区中町7-20 TEL(082)241-1111
会費：5,000円(当日会場受付にてお支払いください)
学生は半額(2,500円)です。

総会次第

- ◎第1部 総会
- ◎第2部 コンサート バイオリン：松田 佳奈さん（45期）
同窓会コーラス
- ◎第3部 恩師を囲んでの歓談（昼食）

出席される場合は、同封のハガキまたは出席者フォームにてお知らせください。出席者フォームへは下のQRコードからアクセスできます。準備の都合上、出席のお知らせは6月30日（金）までにご連絡ください。なお、7月15日（土）以降の出席の取消については会費を徴収させていただきますので、ご了承ください。

なお、諸状況により、出席者多数の場合は人数制限をさせていただく場合がございます。ご了承ください。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によって予定変更の可能性あります。その場合、同窓会ホームページにてお知らせいたしますので、ご確認いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

今年度総会の幹事は、45期、55期です。

出席者フォームはこちら

〈連絡先〉同窓会事務局

TEL (082)271-1724

(月～金) 10:30～13:30(不定休)

E-mail dousoukai@hiro-seishin.ed.jp



〔同窓生の皆さまへ〕

- ◆同窓会へのご質問・ご連絡はこちらまで E-mail dousoukai@hiro-seishin.ed.jp
- ◆執行部役員を募集しています。上記連絡先へご連絡ください。
- ◆新型コロナウイルス感染症の状況によって予定変更の可能性あります。各連絡先にご確認ください。

ノートルダム清心中・高等学校ホームページ

https://www.hiro-seishin.ed.jp



ノートルダム清心中・高等学校フェイスブック

https://www.facebook.com/people/ノートルダム清心中高等学校-109596051333177/

ノートルダム清心中・高等学校同窓会ホームページ

https://www.seishin-dosokai.com

※住所・氏名変更の際はこちらのHP「住所変更申請フォーム」より手続きしてください。



会報誌 電子版



◆バックナンバーもこちらからご覧いただけます。

https://www.seishin-dosokai.com/kaihou/

編集委員

- 48期 岩佐敦子（藤本）、升田夏希（濱田）
宮下真帆（土生）
- 49期 後藤智美（佐藤）、宮川彩子
森 彩子（池野）、山持雪絵（板本）
- 50期 道面朋子（二井谷）、村上沙也香（峠）

編集後記

卒業してちょうど20年経つ年に編集委員として携われたこと、貴重な体験となりました。3年間の任期中に清心へ足を運ぶことも多数あり、変わらない校舎と先生方、そして今回携わった事になった先輩・後輩含め編集委員の方々温かく迎えて下さり、楽しく編集作業を進めることができました。在校生とすれ違うたび、昔と変わらない雰囲気に、懐かしさを覚えました。今回、特集でとり上げた新しくなった（変わった）図書館についても、清心らしさに溢れた空間となっております。最後になりましたが、原稿作成へ快く応じていただきました関係者の皆さまに心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。また、ご意見ご感想等ありましたら、お気軽にお聞かせください。（編集委員一同）